

地区の状況・課題

【位置等】市東部

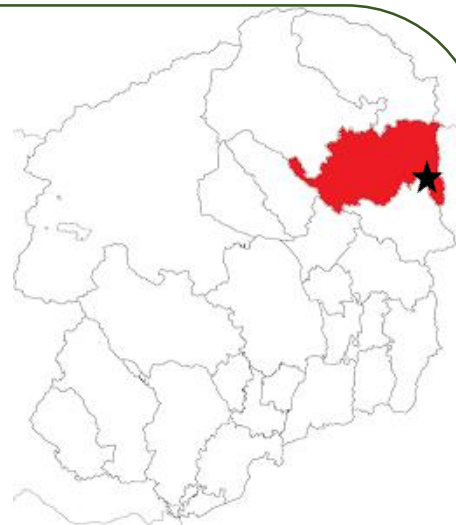
中山間地域に位置し、地区内の多くが
災害警戒区域（土石流警戒区域、急傾斜
警戒区域、洪水浸水想定区域）に該当

【人口】

1,298名（2023.5.31）
65歳以上が684名（52.70%）
571世帯（2023.5.31）

【産業】

農業・林業



課題

- ◇生産人口の減少、過疎化の加速
- ◇高齢化率の上昇に伴う、買い物難民の増加
- ◇働ける場の提供（雇用の創出）
- ◇地域活性化と新たな人の流れの創出

きっかけ

地区唯一の食料品店とガソリンスタンドが後継者難等で閉店することに伴い、古くからの地域の拠所である寺院「雲巖寺」を中心に、郵便局や学校等の関係者の協働により、地域住民の買い物難民化を防ぐため、店舗再生に向けて動き出した。

経過

- R2.2 食料品店、ガソリンスタンド閉店
- R2.4 前事業者から土地、店舗及び施設買い取り
法人設立準備
- R2.5 法人設立、店舗改修・補修、雇用等運営体制整備
- R2.6 店舗名「かなめ」として、事業再開

経過の過程での問題・困難

店舗の再開に向けた運営会社の
設立や店づくりの調整

解決

運営会社は、店舗開発経験のあった「雲巖寺」副住職・高憲氏が代表に就き、地域住民の出資、栃木県よろず支援拠点の財政・技術支援を得て設立。陳列方法や地元商品の販売、休憩スペース等に工夫を凝らした。

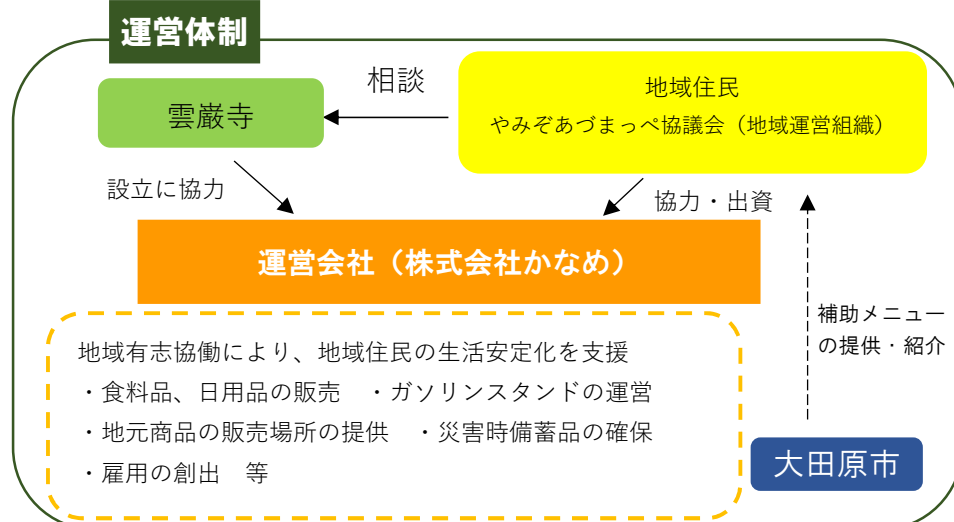
財源

- ・地域住民が出資
- ・栃木県よろず支援拠点

活動拠点

- ・民間の食料品店
- ・ガソリンスタンド

運営体制



取組内容

拠点施設の整備

- ・ 令和2年2月の食料品店、ガソリンスタンド閉店から、4か月で営業を再開



- ・ 生活必需品以外にも、地元生産品を販売



- ・ 地域住民の交流の場として、休憩スペースを確保



6次産業化・地域活性化

- ・ やみぞあづまっぺ協議会では、地域資源である農産物「ゆず」「唐辛子」を活用した「ゆずこしょう」や休耕田での茶栽培を通じて生産した「北限の紅茶 那須 雲巖の静謐」等、新商品開発を行い、「かなめ」で販売。
- ・ 雲巖寺薪能や収穫祭、門松づくり等、世代間交流事業も開催。



防災に向けた取組

当地区には、土砂災害警戒区域に指定されている区域が存在することから、災害等で道路が寸断され、物流が滞ることを想定し、食料品店に地域住民の災害備蓄品及び非常用電源設備を設置（浸水対策も考慮して嵩上げし設置）。



今後の予定

- ・ 移動販売車による移動販売
- ・ そば店開店
- ・ 商品開発を継続

代表者コメント

地域住民の買い物難民化の解消、生活利便性の維持のため、創業を決意するに至りました。

食料品店としての機能だけでなく、地域コミュニティ拠点としての機能や災害時の備蓄等、役割は多岐に渡ります。